

福祉保健

2
2018

2月1日から花粉情報の提供を開始しています

例年、2月中頃は花粉が飛散し始める時期です。東京都では、2月1日からスギ・ヒノキ花粉情報をウェブサイト、テレホンサービス、メールで提供しています。花粉症の予防や治療にご活用ください。

●ウェブサイト

〈東京都の花粉情報〉

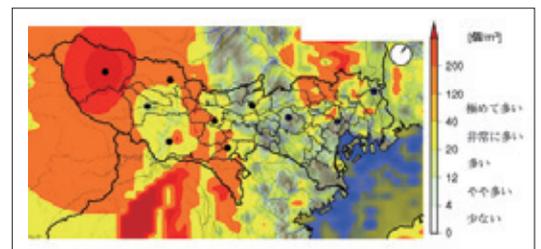
花粉観測結果や花粉症予防に関する情報をご覧ください。

HP http://www.tokyo-eiken.go.jp/kj_kankyo/kafun/

〈とうきょう花粉ネット〉

花粉予報や最新の花粉飛散状況を地図に表示して分かりやすくお伝えします。

HP <http://pollen.tokyo-kafun.jp/kafun/>



〈とうきょう花粉ネットのイメージ図〉

●テレホンサービス

都内を5つの地域に分けて、花粉予報や飛散状況をお知らせします。

TEL 050-3535-1187 (イイハナ)

●メール配信 (要登録)

48時間先までの花粉予報を配信します。

メールを受信するには登録が必要です。詳細は、HP をご覧ください。

HP <http://pollen.tokyo-kafun.jp/kafun/index.php?action=MailSendInfo>

●平成30年版「花粉症一口メモ」を配布

都民情報ルーム (都庁第一本庁舎 3階) 及び健康安全研究センター等で無償配布するとともに、HP にも掲載します。

HP http://www.tokyo-eiken.go.jp/kj_kankyo/kafun/hitokuti/

問 健康安全研究センター企画調整部健康危機管理情報課 TEL 03-3363-3487 FAX 03-5386-7427

今月の主な内容

【特集】今春の飛散花粉数予測～今春の飛散花粉数は昨春の2倍程度～	2
それゆけ！ 検診女子 気づいた今が、タイミング！／	
「野菜たっぷり！簡単レシピ」を「みんなのきょうの料理」に掲載します	3
自殺防止！東京キャンペーン「こころといのちの講演会」を開催します／	
世界結核デー記念行事「映画『パンドラの匣』上映会&映画監督富永昌敬氏との対談」を開催します	4
平成29年度東京都硫黄島戦没者追悼式を行いました／	
Tokyo健康ウオーク2017を開催しました！！	5
お知らせ	6、7
福祉人材と福祉職場をつなぐ福祉人材情報のポータルサイト	
「ふくむすび」～東京都福祉人材情報バンクシステム～がオープンしました！／	
都内のインフルエンザ「流行警報」	8

このマークは、目の不自由な方などのための「音声コード」で、コードの位置を示すために切り込みを入れてあります。専用の読み上げ装置で読み取ると、記載内容を音声で聞くことができます。



今春の飛散花粉数予測

～今春の飛散花粉数は昨春の2倍程度～

東京都では、花粉症の予防や治療を適切に行うことができるよう、飛散花粉数の観測を行うとともに、観測結果などに基づき、花粉飛散予測を実施しています。

1月18日(木)に東京都花粉症対策検討委員会を開催し、都内における平成30年春のスギ・ヒノキ花粉に関する飛散予測の検討を行いました。

I 飛散開始日の予測

2月10日から14日頃とされ、過去10年平均よりやや早めとなる見込み

※過去10年平均は2月16日頃

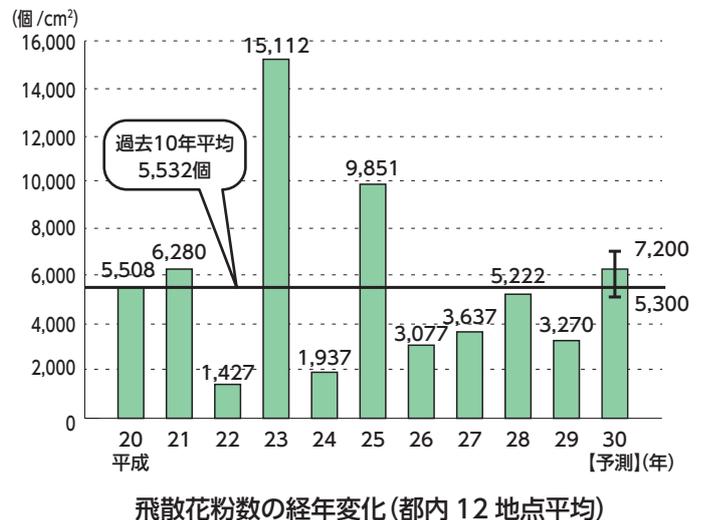
II 飛散花粉の総数の予測

昨春の2倍程度で、過去10年平均の1.1倍程度となる見込み(右図)

(昨春と比べ、区部では1.1～1.5倍、多摩部では2.2～3.0倍となる見込み)

III 飛散花粉の多い日の予測

飛散花粉数が「多い」に分類される1日当たり30個/平方センチメートル以上飛散する日数は、区部で39日程度、多摩部で42日程度となる見込み



花粉症の予防対策

<花粉シーズンの生活の心得>

- 「風邪をひかないこと」…風邪をひくと粘膜の上皮が弱くなり、症状がひどくなる場合があります。
- 「お酒を飲みすぎないこと」…鼻づまりを悪化させる可能性があります。
- 「たばこは控えめに」…たばこは粘膜を傷つけるため、症状がひどくなる場合があります。

<花粉を避ける方法>

●外出するとき

マスクやメガネを着用し、花粉が目や鼻などに付かないように注意しましょう。帽子をかぶることも効果があります。帰宅した際に、洋服や髪の毛に付いた花粉をよく払い落としてから家に入り、うがい・手洗い・洗顔をしましょう。

●掃除・洗濯・布団干し

なるべく室内に花粉を入れないように注意しましょう。掃除の際は、掃除機の使用に加え、ぬれ雑巾やモップで拭くことも効果的です。

また、洗濯物はできるだけ屋内に干しましょう。布団は布団乾燥機の使用が望ましいですが、屋外に出した場合でも、掃除機をかけることで、ある程度花粉を除去することができます。

参考

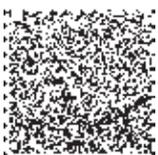
○飛散開始日の予測 飛散開始日の予測については、1月の日単位の平均気温の積算値のほか、スギの花芽が休眠に入った後の11月以降の気温の推移等を総合的に判断して行っています。

○飛散開始日の定義 1月以降にスライドガラスの1平方センチメートル内にスギ花粉が1個以上捕集される日が、2日以上続いた最初の日としています(公益財団法人日本アレルギー協会花粉情報標準化委員会の定義による。)。なお、気象条件により、これ以前に少量の花粉が飛ぶ場合があります。

○スギ・ヒノキ飛散花粉数の予測 スギ・ヒノキ飛散花粉数は、前年夏の日射量や秋のスギ花芽の着花状況などによって決まるので、この値を基に予測しています。

○飛散花粉数が多い日の定義 飛散花粉数が多い日とは、花粉捕集器を用い、捕集した花粉の数値が1日当たり30個/平方センチメートル以上の日としています。

○飛散花粉数の経年変化(過去10年平均) 都内の飛散花粉数の経年変化を見ると、現時点の過去10年平均は、平成6年時点の過去10年平均と比べて2倍以上に増えています。



問 健康安全研究センター企画調整部健康危機管理情報課

TEL 03-3363-3487 FAX 03-5386-7427

それゆけ！検診女子 気づいた今が、タイミング！

～「女性の健康週間」における子宮頸がん検診の普及啓発キャンペーンを実施します！～

3月1日から8日までは「女性の健康週間」です。女性の健康週間では、女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを総合的に支援するため、国や地方公共団体等が普及啓発等の取組を展開します。

東京都では、目標とするがん検診受診率 50%を達成するため、今年で3年目となる「それゆけ！検診女子」と題した子宮頸がん検診の普及啓発キャンペーンを行います。

子宮頸がん検診は20代前半の若い世代で特に受診率が低くなっています。そこで、主に若者から支持を得ているモデル・タレントを「子宮頸がん検診応援ガール」として任命し、ブログやSNS等で子宮頸がん検診の体験記等を情報発信します。



子宮頸がん検診 体験レポート公開中！

応援ガールに就任した舟山久美子さん、前田希美さん、武田玲奈さんが、検診の体験レポートや座談会でキャンペーンを盛り上げます！

「どこで受けるの?」、「どんな検査をするの?」など、これから検診を受ける人にも、役立つ情報がいっぱいです。

＜キャンペーン専用サイトはこちら＞

HP <http://www.kenshin-joshi.com/>

それゆけ検診女子



前田希美さん × 都内在住女性 座談会を開催しました

20代女性の等身大の声をお届けします。プレゼントが当たるチャレンジ検定も実施中！



このほか、2月27日(火)から3月5日(月)までの期間、都庁第一本庁舎1階中央アートワークスペースにてパネル展を開催します。ぜひお越しください。

子宮頸がん検診は20歳から。2年に1回定期的に受診しましょう。

- ・がんは早期発見・早期治療が大切。自覚症状がなくても検診は定期的に！
- ・がん検診は、お住まいの区市町村の検診等で受けられます。

問 福祉保健局保健政策部健康推進課 TEL 03-5320-4363 FAX 03-5388-1427

「野菜たっぷり！簡単レシピ」を「みんなのきょうの料理」に掲載します

野菜の目標摂取量は一日当たり350g以上ですが、都民の一日の平均摂取量は“あと1皿”分(約70g)不足しています。

皆様の毎日の食卓に野菜料理を“あと1皿”加えていただくため、ご家庭等で簡単にプロの味が楽しめる「野菜たっぷり！簡単レシピ」を「みんなのきょうの料理」に掲載します。ぜひご活用ください。



〈鶏もと冬野菜のあっさり鍋〉



〈牛肉と炒め野菜の甘酢かけ〉

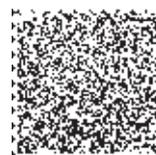


掲載期間 3月13日(火)まで

掲載先 NHKエデュケーショナル「みんなのきょうの料理」HP <https://www.kyounoryouri.jp/>

※掲載期間終了後も、紹介したレシピを福祉保健局HP「とうきょう健康ステーション」に引き続き掲載します。

HP http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/ei_syo/recipe/



問 福祉保健局保健政策部健康推進課 TEL 03-5320-4356 FAX 03-5388-1427

自殺防止！東京キャンペーン「こころといのちの講演会」を開催します

「ひきこもりと自殺 いかに対話するか」



東京都における 10 代から 30 代までの若者の死因の第 1 位は自殺であり、自殺者全体の約 3 割を占め、全国と比較して高い状況です。

このことから、東京都は、若者の自殺防止に向けた取組を重点施策として推進しており、このたび、若者の自殺予防の一環として、ひきこもりと自殺の関係をテーマとした「こころといのちの講演会」を開催します。多くの方のご参加をお待ちしています。

日時 3月14日(水) 15時から17時まで(14時30分開場)
会場 都議会議事堂1階 都民ホール
講師 斎藤環氏(医学博士・筑波大学医学医療系社会精神保健学教授)
対象 都内在住・在勤・在学の方
定員 約200名(先着順)
申込み 3月9日(金)17時までに、福祉保健局 [HP](#) 掲載の申込用紙を用いて、
[E-mail](#) 又は [FAX](#) で福祉保健局保健政策部保健政策課までお申込みください。



[E-mail](mailto:S0000282@section.metro.tokyo.jp) S0000282@section.metro.tokyo.jp

[HP](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/tokyokaigi/rinji1/kouenkai.html) http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/tokyokaigi/rinji1/kouenkai.html

[問](#) 福祉保健局保健政策部保健政策課 [TEL](tel:03-5320-4310) 03-5320-4310 [FAX](tel:03-5388-1427) 03-5388-1427

世界結核デー記念行事「映画『パンドラの匣』上映会&映画監督富永昌敬氏との対談」を開催します

東京都では、毎年2,000人以上の方が結核を発症し、特に20代から30代の若い世代は約22%を占めています。結核療養所を舞台にした映画を通して、結核について考えてみませんか。

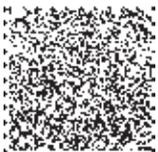
上映後は、映画監督の富永昌敬氏と結核研究所の加藤誠也所長との対談も予定しています。若い世代の方の参加をお待ちしております。

- **イベント名** 映画「パンドラの匣」上映会&映画監督富永昌敬氏との対談～結核をもっと身近に考えよう！～
- **日時** 3月10日(土) 13時から15時15分まで(12時30分開場)
- **会場** 烏山区民会館ホール(世田谷区南烏山6-2-19)
- **講師** 公益財団法人結核予防会結核研究所 加藤誠也所長
- **内容** 映画「パンドラの匣」上映、映画監督富永昌敬氏と結核研究所の加藤誠也所長との対談
- **定員** 200名(事前申込み必要・抽選、参加無料)
- **申込期限** 2月23日(金)(消印有効)
- **申込方法** 「平成29年度世界結核デー記念行事参加申込み」と明記の上、①氏名、②住所、③電話番号、④車椅子で来場される方は台数、⑤テーマに関する講師への質問を記入し、下記の申込み先へ [FAX](#) 又は郵送でお申込みください。
※受講決定者には、参加整理券をお送りします。申込状況によってはお断りすることがあります。ご了承ください。
- **申込み先** [運営事務局] 公益財団法人東京都結核予防会業務課企画調整係
〒130-0026 墨田区両国4-5-9 [TEL](tel:03-3633-4053) 03-3633-4053 [FAX](tel:03-3633-8453) 03-3633-8453

◆世界結核デーとは◆

1882年3月24日 ロベルト・コッホは、結核菌を発見したことを学会で発表しました。WHO(世界保健機関)は結核問題の重要性を警告し、結核対策の強化の必要性を訴えるため、この日を「世界結核デー」とすることにしました。

[問](#) 健康安全研究センター企画調整部健康危機管理情報課
[TEL](tel:03-3363-3213) 03-3363-3213 [FAX](tel:03-5332-7365) 03-5332-7365



平成29年度東京都硫黄島戦没者追悼式を行いました

1月18日(木)、第二次世界大戦末期の激戦地であり、2万人あまりの尊い命が失われた硫黄島において、平成29年度東京都硫黄島戦没者追悼式が執り行われました。



東京都は関係ご遺族とともに、硫黄島で戦没された方々を慰霊し、平和を願う都民の強い決意を表すことを目的として毎年追悼式を挙げており、本年度で35回目の実施となります。

追悼式は、ご遺族35名のほか、関係者が参列して「鎮魂の丘」慰霊碑前で行われ、戦没者遺族代表の稲尾宣子さんが追悼のことばを述べたほか、参列者が慰霊碑に白い菊を捧げました。その後、島内の各地にある慰霊碑を回って献花し、戦没者のご冥福をお祈りしました。

問 福祉保健局生活福祉部計画課 TEL 03-5320-4076 FAX 03-5388-1403

Tokyo健康ウオーク2017を開催しました！！

12月3日(日)、大腸がん検診の受診を広く呼びかけるため、ウォーキングイベント「Tokyo健康ウオーク2017」を開催しました。約1,400名の参加者が板橋区立小豆沢野球場を出発し、晩秋の板橋区・北区のコース(12km又は6km)を、大腸がんクイズラリーを楽しみながら歩きました。



また、斎藤博医師とゲストの荻原次晴さん・勅使川原郁恵さんによるトークショーでは、大腸がん検診への理解を深めていただくため、大腸がんに関する知識や検診の有効性等についてのお話がありました。



東京都は、今後も大腸がん検診の推進により死亡率の減少を目指し、検診受診率向上のための啓発に取り組みしていきます。

大腸がん検診を受けましょう！

- 大腸がんは、早期発見・早期治療により95%以上が治るといわれています。
- 早期のがんでは自覚症状がないため、検診を毎年受診することが大切です。

検診の内容

- *対象年齢は40歳以上です*
- 問診
- 便潜血検査(2日法)

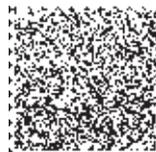
検診が受けられる場所

- お住まいの区市町村での検診
- 職場での検診(実施の有無は、職場にご確認ください。)
- 人間ドックなど

便潜血検査

便潜血検査(便中の微量の血液を調べる検査)は、便を採取するだけなので、非常に簡単で、体への負担もありません。この検査は、死亡率を減らすことが証明されている検査方法です。

40歳になったら、1年に1回、大腸がん検診を！



問 福祉保健局保健政策部健康推進課 TEL 03-5320-4363 FAX 03-5388-1427

お知らせ

■ 都民のための「おくすり講座第2弾」を開催します！

健康安全研究センターでは、「薬と健康食品」をテーマとした「おくすり講座第2弾」を開催します。

本講座では、食品とくすりの違い、健康食品とは何か、健康食品を利用する際の注意点等について分かりやすく解説します。ご参加の申込みをお待ちしています！

講座題目 薬と健康食品との賢い付き合い方

日時 3月6日(火)14時から16時まで(13時30分開場)

会場 健康安全研究センター本館6階(新宿区百人町3-24-1)

講師 千葉一敏 氏(薬剤師・サプリメントアドバイザー)

定員 50名(事前申込み必要、参加無料)

応募資格 都内在住、在勤又は在学で、年齢18歳以上の方(応募多数の場合は抽選)

申込方法 2月20日(火)(消印有効)までに、福祉保健局 [HP](http://www.tokyo-eiken.go.jp/kj_shoku/forum/) の応募フォーム又は往復はがきに、①「おくすり講座第2弾」参加希望、②住所、③氏名(ふりがな)、④年齢、⑤職業、⑥電話番号、⑦手話通訳を希望される方、車いすでの参加を希望される方、介助者がいらっしゃる方、託児希望の方はその旨を記入し、下記の申込み先へお申込みください。

HP http://www.tokyo-eiken.go.jp/kj_shoku/forum/

申込み・問合せ先 健康安全研究センター企画調整部健康危機管理情報課
〒169-0073 新宿区百人町3-24-1 **TEL** 03-3363-3472 **FAX** 03-5386-7427

■ 東京都自立支援協議会本会議を開催します

日時 2月27日(火)13時30分から16時30分まで

会場 心身障害者福祉センター12階研修室(新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ)

内容 「都と地域の協議会活動の双方向性を強化し、東京都における地域課題を考える」をテーマに、平成29年度活動報告及び意見交換を行います。なお、傍聴が可能です(人数制限あり)。ご希望の方は2月22日(木)までに下記までお申込みください。

また、手話通訳等を希望される場合は、お早めに下記までご連絡ください。

問 心身障害者福祉センター地域支援課 **TEL** 03-3235-2952 **FAX** 03-3235-2957

■ 「第29回腎臓病を考える都民の集い」を開催します

日時 3月11日(日)14時から16時30分まで

会場 都庁第一本庁舎5階大会議場

定員 250名(当日先着順、参加無料)

講演 ①「CKD(慢性腎臓病)について詳しくなるう」 講師：菅野義彦先生(東京医科大学病院主任教授)

②「CKD(慢性腎臓病)の食事療法」 講師：坂本香織先生(女子栄養大学管理栄養士)

問 特定非営利活動法人東京腎臓病協議会 **TEL** 03-3944-4048 **FAX** 03-5940-9556

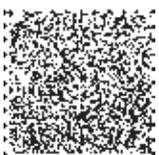
■ 人工肛門・人工膀胱保有者(オストメイト)講習会「介護職によるストーマ装具交換支援」

日時 3月4日(日)13時30分から16時30分まで

会場 立川市市民会館(たましん RISURU ホール)

その他 参加希望の方は、直接会場へお越しください。

問 日本オストミー協会東京都協議会 **TEL** 03-5272-3550 **FAX** 03-5272-3550
福祉保健局障害者施策推進部計画課 **TEL** 03-5320-4147 **FAX** 03-5388-1413



■ 手話通訳者・要約筆記者養成講習会

〈手話通訳者〉

期 間 5月16日(水)から平成31年3月6日(水)まで(毎週水曜日、⑤毎週木曜日)

会 場 オリピック記念青少年センター ほか

クラス ①手話のできる都民育成講習会、②地域手話通訳者クラス、③手話通訳者特別クラス、④手話指導者養成クラス、⑤手話指導者養成クラス(中途失聴・難聴者向け手話指導)
※いずれも昼・夜クラスあり(⑤夜のみ)

対象者 応募条件の詳細は、福祉保健局 [HP](#) 掲載の募集要項参照

定 員 ①120名、②180名、③60名、④60名、⑤30名、全450名

〈要約筆記者〉

期 間 4月26日(木)から平成31年2月7日(木)まで(毎週木曜日)

会 場 東京都障害者福祉会館

クラス ⑥手書きコース、⑦PCコース(いずれも昼のみ)

対象者 初心者の方 定 員 各12名

申込み 3月15日(木)、①⑤のみ4月12日(木)(いずれも消印有効)までに所定の申込書(福祉保健局 [HP](#) で入手可)を郵送で東京手話通訳等派遣センターへ(応募条件あり、選考試験あり)。

[HP](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shougai/koza/kousyu.html) <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shougai/koza/kousyu.html> (①②③④⑤)

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shougai/koza/youyakuyousei.html> (⑥⑦)

[問](#) 東京手話通訳等派遣センター

〒160-0022 新宿区新宿2-15-27 第3ヒカリビル5階

[TEL](#) 03-3352-3335

[FAX](#) 03-3354-6868

福祉保健局障害者施策推進部計画課

[TEL](#) 03-5320-4147

[FAX](#) 03-5388-1413

■ 中途失聴者・難聴者手話講習会

日時・場所 ①多摩会場 4月20日(金)から9月21日(金)までの金曜日(全22回)13時30分から、多摩障害者スポーツセンター(味の素スタジアム内)などで。

②三田会場 4月13日(金)から9月21日(金)までの金曜日(全22回)18時30分から、東京都障害者福祉会館で。

対 象 都内在住・在勤の中途失聴・難聴の方

定 員 いずれも入門・初級・中級・上級コース各15名(中級は三田会場のみ)

面 接 多摩：4月13日(金)、三田：4月6日(金) 受講料 テキスト代1,500円

申込書の入手 住所・氏名・電話([FAX](#))番号・「中難手話講習会受講希望」と明記し、[FAX](#)又はハガキにて下記へ。福祉保健局 [HP](#) からダウンロードできます。

申込み 申込書を3月13日(火)(消印有効)までに下記へ。詳細は、福祉保健局 [HP](#) をご覧ください。

[HP](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shougai/koza/shuwakoushuukai.html) <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shougai/koza/shuwakoushuukai.html>

[問](#) 福祉保健局障害者施策推進部計画課

〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1

[TEL](#) 03-5320-4147

[FAX](#) 03-5388-1413

■ 檜原村職員(保健師)募集

資格 保健師免許及び正看護師資格取得者で昭和52年4月2日以降に生まれた方

人員 若干名 採用 平成29年度内 試験日 後日申込者に通知

[問](#) 檜原村役場総務課 [TEL](#) 042-598-1011 [FAX](#) 042-598-1009



● 東京都障害者スポーツセンター

	開催名	開催日・時間	対象者	申込み
総 合	にこにこ盆パラビクス&レクリエーションスポーツ ※1	3月2日(金)13時~14時50分 ※盆パラ：13時~13時50分 レク：14時~14時50分	障害児者・家族等 地域住民	不要
	あそびのひろば ※2	3月11日(日) 13時30分~15時		
多	バランスボールトレーニング ※3	2月23日(金) 13時~14時	障害児者・介護者	
摩	ノルディックウォーキング ※4	2月26日(月) 12時~13時	障害児者	

※1 盆踊りとパラパラをMIXしたリズム体操と、毎回変わるレクリエーションスポーツを実施します。

※2 トランポリンやソフトブロックなど、たくさんの遊具を利用して全身を使って遊びましょう!

※3 大小のボールを使って、バランス感覚を養いながら全身の筋力強化を目指しましょう。

※4 人気上昇中のスポーツです。これからやってみたいという方にお勧めです。

[問](#) 東京都障害者総合スポーツセンター

[TEL](#) 03-3907-5631

[FAX](#) 03-3907-5613

[HP](#) <http://tsad-portal.com>

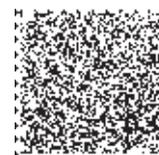
東京都多摩障害者スポーツセンター

[TEL](#) 042-573-3811

[FAX](#) 042-574-8579

[HP](#) <http://tsad-portal.com>

<3月10日(土)より改修工事のため全館休館となります。詳細については当センターへお問合せいただくか、[HP](#)にてご確認ください。>



福祉人材と福祉職場をつなぐ福祉人材情報のポータルサイト 「ふくむすび」～東京都福祉人材情報バンクシステム～がオープンしました！

超高齢社会への対応、待機児童対策や障害者の地域生活支援など、今後ますます必要となる福祉サービスを担う人材を確保するため、「福祉職場に興味のある方」と「人材を求める福祉職場」をつなぐ Web サイト「ふくむすび」を新たに開設しました。一人でも多くの方が、自分に合った福祉職場を見つけられるよう、様々な情報を発信していきます。ぜひご活用ください。

「ふくむすび」のイメージ



○サイトの特徴

- ・サイト登録によりマイページが作成され、興味のある情報を自動で配信
- ・「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」をした事業所の情報、都内約3万の福祉事業所や地域の講習会、ボランティア参加情報等を掲載
- ・都内自治体が実施する働く方に向けた支援策を掲載



○アクセス方法

スマートフォンからも利用できます。 **ふくむすび** **検索**
HP <https://www.fukushijinza.metro.tokyo.jp/>



問 福祉保健局総務部企画政策課 **TEL** 03-5320-4201 **FAX** 03-5388-1401

都内のインフルエンザ「流行警報」

都内のインフルエンザ患者報告数は、第3週（1月15日から1月21日まで）において急速に増加し、「流行警報基準*」を超えました。学校等における臨時休業措置（学級閉鎖等）の報告も前週から大幅に増加し、大きな流行となっています。

インフルエンザの予防、拡大防止に、より一層注意するとともに、感染が疑われる場合には早めに医療機関を受診し、体調管理にも十分に気を付けてください。

インフルエンザの最新情報については、東京都感染症情報センター **HP** をご覧ください。

*流行警報基準：感染症発生動向調査による定点報告において、30人/定点(週)を超えた保健所の管内人口の合計が、東京都の人口全体の30%を超えた場合としています。

HP <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/flu/>

【感染症対策全般に関すること】

福祉保健局健康安全部感染症対策課

TEL 03-5320-4482

FAX 03-5388-1432

【感染症患者の報告数（感染症発生動向）に関すること】

健康安全研究センター企画調整部健康危機管理情報課

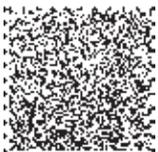
TEL 03-3363-3213

FAX 03-5332-7365

1月の動き

- 7日 保育士就職支援研修・就職相談会
- 12日 事業者向け食品表示法講習会（第1回）
- 13日 訪問看護フェスティバル
東京都薬剤師認知症対応力向上研修
- 15日 東京都児童福祉審議会第4回専門部会
第2回東京都歯科医師認知症対応力向上研修
- 16日 第4回東京都高齢者保健福祉計画策定委員会
- 18日 東京都硫黄島戦没者追悼式
第2回東京都花粉症対策検討委員会
新型インフルエンザ患者移送・受入れ訓練
- 19日 都民アレルギー講演会「学んで活かそう！子供のアレルギー」

- 第7回都医学研都民講座「スポーツ脳科学への招待」
- 21日 難病患者就労サポート事業（難病患者交流イベント）
保育のおしごと応援フェスタ2018
セミナー「子どもたちの未来を育てよう～養育費と面会交流を考える～」
- 24日 事業者向け食品表示法講習会（第2回・第3回）
- 25日 東京都第11期福祉のまちづくり推進協議会 第6回専門部会
第5回東京都地域福祉支援計画策定委員会
第八期東京都障害者施策推進協議会 第3回総会
- 26日 保育士就職支援セミナー（～28日）
- 29日 子育て応援とうきょう会議 第13回全体会議
- 31日 東京都薬事審議会



福祉保健 vol.162 平成30年2月発行

印刷物規格表第1類 印刷番号(28)53 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

東京都福祉保健局総務部総務課広報担当 ☎03-5320-4032（ダイヤルイン） FAX 03-5388-1400